

誌上行学講習会

高佐日煌上人

鬼心の修羅心。これは欲闘争心  
 とよく似ている。欲闘争心は  
 方の普通の欲である。闘争心  
 だ。欲の度がついたために闘  
 心の方はいつの場合でも争つ  
 な。鬼心の損人という心は争  
 欲を極端なことを当然だと考  
 病的な鬼心の天をあたりに快  
 り。鬼心の天をあたりに快  
 心。鬼心の天をあたりに快  
 ようなつつかまらぬ生活をし  
 を。ためてそれを楽しむ。金  
 念。鬼心の天をあたりに快  
 コツ、鬼心の天をあたりに快  
 る。鬼心の天をあたりに快  
 が。鬼心の天をあたりに快  
 す。鬼心の天をあたりに快  
 ま。鬼心の天をあたりに快  
 も。鬼心の天をあたりに快  
 相。鬼心の天をあたりに快  
 行く。鬼心の天をあたりに快  
 万。鬼心の天をあたりに快

利息を自分で預かって金を増やすという方法を  
 と肩書きを取り、貴族院議員となり分は去  
 う。行きました。これも遂にシッポを出し分は去  
 っ。金もつけました。こうも遂にシッポを出し分は去  
 知。鬼心の縁心は欲行法心と言います。右のよ  
 うな方法と、コツを自から体験して悟るとい  
 であらう。学問V的ではなく、体験V的に悟る  
 心。鬼心の菩薩心は欲中他念心で、人に損害をか  
 けた。何となく迷惑をかきたことを反省し気の毒だっ  
 た。鬼心の菩薩心は欲中他念心で、人に損害をか  
 強。欲心を恥じて醜悪なる心を反省する。正でもよ  
 い。ここまでは普通の人間として時々ある。鬼道修羅も  
 ず。ここまでは普通の人間として時々ある。鬼道修羅も  
 に。落ちることある。常にある。必要がある。深く警  
 落。落ちることある。常にある。必要がある。深く警  
 しい。落ちることある。常にある。必要がある。深く警  
 な。落ちることある。常にある。必要がある。深く警  
 て。落ちることある。常にある。必要がある。深く警  
 や。落ちることある。常にある。必要がある。深く警  
 の。落ちることある。常にある。必要がある。深く警

以下次号